

株式会社4°Cホールディングス

YONDOSHI HOLDINGS INC.

2026年7月10日

(証券コード:8008 東証プライム市場)

2027年2月期第1四半期決算概要

- 連結業績は、6期連続増収、営業利益は2期連続増益、四半期純利益は2期ぶりの増益。
- ブランド事業は大幅増収増益。FDCプロダクツグループはMD改革の深化とチャネル戦略の推進により増収増益。(株)羅針は品揃えの拡充や免税売上の伸長により、売上・利益ともに大幅拡大。
- アパレル事業は増収減益も、計画以上の推移。アスティグループは主力取引先との取り組みを強化。(株)アージュは新規出店や既存店の伸長により売上高が拡大。
- 株主還元方針として、DOE(株主資本配当率)4%以上を目安に、安定的・継続的な配当の実施と自己株式の取得により、総還元性向の水準向上に努める。
- 年間配当は2円増配の85円を予定。

株式会社4°Cホールディングス(本社:東京都品川区、代表取締役社長 増田英紀)はこの度、2027年2月期決算(2026年3月1日から2026年5月31日まで)を発表いたしましたので、概略のご報告をいたします。

1) 連結業績概況(累計)

(百万円、%)	2026年2月期 第1四半期	2027年2月期 第1四半期	前年同期比
売上高	15,659	19,961	+27.5%
営業利益	549	1,283	+133.5%
経常利益	621	1,338	+115.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	422	769	+82.0%

1株当たり当期純利益 35円81銭(前期19円69銭)

期中平均株式数(連結) 21,474,914株

のれん償却前営業利益 2027年2月期第1四半期 1,597百万円(前期861百万円)

流通業界におきましては、個人消費に持ち直しの動きが見られたものの、消費者マインドの回復はなお力強さを欠きました。高額品は堅調に推移する一方、節約・低価格志向も引き続き根強く、消費の二極化が進みました。

このような状況のなか、当第1四半期の売上高は199億61百万円(前年同期比27.5%増)、営業利益12億83百万円(前年同期比133.5%増)、経常利益13億38百万円(前年同期比115.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益7億69百万円(前年同期比82.0%増)となりました。

■ブランド事業

売上高 131億96百万円(前年同期比43.1%増)

営業利益 11億57百万円(前年同期比192.6%増)

「4°C」ブランドを中心にジュエリーSPAを展開するエフ・ディ・シー・プロダクツグループは、女性支持拡大に向けたMD改革の深化やチャンネル戦略の推進等に取り組んだ結果、既存店売上高が拡大いたしました。

また、高級ブランド時計のリユース販売を手がける(株)羅針では、引き続き品揃えの拡充や免税売上の伸長により、売上・利益ともに大幅に拡大いたしました。

■アパレル事業

売上高 67億65百万円(前年同期比5.1%増)

営業利益 3億54百万円(前年同期比16.3%減)

アスティグループにおいては、海外生産基盤と企画提案力という自社の強みを活かし、主力取引先との取り組みを強化しております。

また、デイリーファッション「パレット」を展開する(株)アージュは、新規出店および既存店の伸長により、売上高が拡大いたしました。

なお、営業利益は、販売費及び一般管理費の増加もあり、減益となりました。

2)2027年2月期第2四半期(中間期)および通期の連結業績見通し

第2四半期(中間期)

(百万円、%)	2026年2月期 第2四半期 (中間期) (実績)	2027年2月期 第2四半期 (中間期) (前回発表)	2027年2月期 第2四半期 (中間期) (修正予想)	前回発表 予想比	前年同期比
売上高	32,474	34,500	37,500	+8.7%	+15.5%
営業利益	1,124	1,800	2,500	+38.9%	+122.4%
経常利益	1,310	1,950	2,650	+35.9%	+102.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	781	1,150	1,500	+30.4%	+91.9%

1株当たり予想四半期純利益 69円85銭
期中平均株式数(連結) 21,474,914株

2027年2月期第1四半期において、ブランド事業は計画を大幅に上回る増収増益となりました。ジュエリーSPAでは、MD改革の深化やチャネル戦略の推進により既存店が伸長し、増収増益となりました。(株)羅針においては、品揃え拡充による既存店売上高の拡大や免税売上の伸長により、売上・利益ともに大幅に拡大しました。また、アパレル事業においても、(株)アスティの主力取引先との取り組み強化や、(株)アーヂュの新規出店、既存店売上高の拡大により、増収減益ながら計画を上回る推移となりました。

これら第1四半期の計画以上の業績推移に加え、第2四半期には、(株)アスティにおける退職給付制度の改定に伴う退職給付費用の減額処理もあり、2027年2月期第2四半期(中間期)の連結業績予想を上記の通り修正いたします。

通期

(百万円、%)	2026年2月期 (実績)	2027年2月期 (前回発表)	2027年2月期 (修正予想)	前回発表 予想比	前年同期比
売上高	69,962	72,000	75,000	+4.2%	+7.2%
営業利益	2,802	3,600	4,300	+19.4%	+53.4%
経常利益	3,164	3,900	4,600	+17.9%	+45.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,792	2,300	2,650	+15.2%	+47.9%

1株当たり予想当期純利益(通期) 123円40銭
期中平均株式数(連結) 21,474,914株
のれん償却前EPS 170円28銭

2027年2月期第2四半期(中間期)の連結業績予想および今後の見通しを踏まえ2027年2月期通期連結業績予想についても上記の通り修正いたします。

(注)上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の経済情勢等、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

3) 当期の配当

年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前 期 実 績	—	41.50	—	41.50	83.00
当 期 予 想	—	42.50	—	42.50	85.00

当社グループは、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと位置づけております。その基本方針として、安定的かつ継続的な配当の実施に加え、機動的な自己株式の取得を通じて、総還元性向の水準向上に努めてまいります。また、株主還元を測る重要な指標としてDOE 4%以上を目標に掲げ、将来的には1株当たり年間配当100円の実現を目指しています。

こうした方針のもと、2027年2月期の配当については、中間・期末ともに1株あたり42円50銭、年間では2円増配の85円を予定しております。

以上